

白石町長
コラム
Vol.55

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

積極的なワクチン接種を

新型コロナウイルスワクチン接種が2月17日、国内で始まりました。全国の国立病院など100カ所の医者や看護師ら約4万人が先行接種の対象でした。その後、医療従事者を対象にワクチン接種が進み、65歳以上の高齢者に対する接種が、市町村を実施主体として始まる予定です。ワクチンの数量確保に時間を要することもあり、町内での接種時期は現在のところ未定です。ワクチンはアメリカ製薬大手ファイザー製のもので、期間を空けて2回接種する必要があります。江府町では、江尾診療所での予約制の集団接種を行います。

これまでのコラムはこちら!



これまでのコラムはQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

通常の診療とは分け、

午後を予防接種外来に

します。一日当たりの人数がだいたい同じになるよう、あらかじめ集落ごとに日時と場所を指定して行うことを考えています。連日マスコミで様々な報道がなされていますが、町としては、国や県と十分連携しながら、該当する町民のみなさんに積極的にワクチン接種をしていただけるよう努めてまいります。そのために必要な情報の提供も適宜行っていきますので、ご理解、ご協力をよろしくお願います。新型コロナウイルス感染症を一日でも早く終息させるため、積極的にワクチン接種を行います。

※この原稿を執筆しているのは、2月24日現在です。

「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチーム(※)活動報告



これまでの活動の様子をQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

前号で、重点目標と具体的な7つの行動指針をご紹介した「奥大山クレド」江府町職員としての具体的な行動基準(仮称)「」。このコラムもいよいよ最終回となりましたが、今回はクレドの今後の運用についてお話しします。プロジェクトチームでは2月2日(火)、最後のミーティングを行いました。その結果、今後のクレドの運用として、全職員に携帯できるクレドカードを配布することを決めました。

クレドカードは大手企業なども導入しているもので、クレド(企業理念)を持ち歩けるカードにしてまとめたものです。お客様へのおもてなしの心、お客様に喜んでいただくためにはどう行動すべきかという考え方が示されています。

江府町役場としては、クレドカードのサイズは、名刺サイズ程度にして、三つ折りに

できる形状にすることとなりました。また、デザインについては、お客様の目に触れた時に「好印象」をもつていただけられるように「見えやすく洗練されたもの」にすべきということになりました。そのため、デザインは、印刷会社へ委託することになりました。

江府町役場のクレドカードは現在制作中のため、完成は4月上旬頃になる予定です。江府町役場が新庁舎へ移転するという歴史的過渡期中で、全職員の行動の基となる「クレド」を制定するというミッションに立ち向かったプロジェクトチーム。「信頼され、期待に応える役場づくり」を目指して、課を超えて結成されたこのチームも、3月末で役目を終えようとしています。

クレドを基に、全職員が丸となって、これからも信頼され、期待に応えられるよう行動していきます。

※「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチームとは・・・町長をプロジェクトリーダーとし、町長により選任されたメンバーで構成。令和2年8月20日に結成し、「信頼され、期待に応える役場づくり」について課を越えて取り組む。